

緩和ケア研修会を修了した者の割合について

1

緩和ケア研修会について

- 「e-learning」と「集合研修」で構成され、双方の修了をもって緩和ケア研修会の修了となります。
- 「e-learning」はPEACEプロジェクト（厚生労働省委託事業）のホームページから受講することができ、「集合研修」は国・県指定病院が開催しています。
- 本研修会の修了は、診療報酬における「緩和ケア診療加算」、「がん性疼痛緩和指導管理料」等の算定要件の一つです。
また、「がん治療認定医」（日本がん治療認定医機構）の申請資格要件の一つです。

2

データの推移①

＜国・県指定病院等に勤務するがん診療に携わる医師のうち、緩和ケア研修会を修了した者の割合＞

区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
修了した者の割合 (病院数)	80.0% (18病院)	79.6% (20病院)	71.9% (21病院)	65.8% (23病院)	68.4% (23病院)	74.3% (23病院)	
内	がん診療連携拠点病院	89.5% (10病院)	90.6% (10病院)	79.7% (10病院)	78.8% (10病院)	79.5% (10病院)	83.5% (10病院)
	地域がん診療病院	11.7% (1病院)	39.8% (2病院)	57.4% (2病院)	64.7% (2病院)	64.4% (2病院)	79.5% (2病院)
	静岡県地域がん診療 連携推進病院	60.8% (7病院)	59.1% (7病院)	53.2% (8病院)	42.0% (8病院)	49.1% (8病院)	53.8% (8病院)
訳	小児がん拠点病院	-	69.6% (1病院)	82.6% (1病院)	39.3% (1病院)	45.5% (1病院)	90.6% (1病院)
	がん相談支援センター 設置病院	-	-	-	20.3% (2病院)	20.9% (2病院)	26.3% (2病院)

※網掛け：50%未満

3

データの推移②

＜緩和ケア研修会の開催実績＞

年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
開催実績	17回	19回	15回	14回	16回	18回

※網掛け：前年度と比較して開催回数が減った年度

4

＜修了した者の割合が低下した要因＞

- ・修了した者の割合が低い病院が、新たに集計対象に加わったことにより、全体の修了した者の割合が低下したと考えられます。
- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緩和ケア研修会の開催を見送った病院があったことや、開催に当たり、受講人員を絞ったことが影響したと考えられます。

＜今後の対応＞

- ・県は、引き続き、各病院での緩和ケア研修会の開催を支援します。
- ・特に、修了した者の割合が低い病院に対し、より多くの職員が受講できるよう、個別に働き掛けを行います。